

平成30年度第9回安城市地域ケア推進会議及び安城市認知症初期集中支援チーム検討委員会

日時 平成30年12月20日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

2 議題

(1) 在宅医療・介護連携推進のための研修会等実施報告 (資料1)

- ・施設部会
- ・認知症を知る講演会

(2) 認知症高齢者の行方不明に関する現状と課題について (資料2)

(3) 認知症初期集中支援チームの活動報告 (資料3)

(4) 意見交換 (フリートーク)

- ・各部会の課題についてなど (来年度以降の各部会の研修、検討テーマのヒントとして)

連絡事項

- ・安城地域リハビリネットワークの推進会議への参加について (訪問リハビリネットワーク)
- ・介護予防のための専門職 ボランティア講座の実施について (別添チラシ)
- ・あんジョイ生活サポーター養成研修の実施とマッチング交流会について (別添チラシ)
- ・地域福祉マッチング交流会&サロン活動博覧会について (社会福祉協議会) (別添チラシ)
- ・サルビー見守りネット移行説明会

(平成31年2月21日16時～市民会館大会議室、20時～医師会館を予定)

- ・在宅医療・介護連携推進のための研修会

テーマ：「生活サポーターとの連携」

～あんジョイ生活サポーター養成講座の内容について～ (ヘルパーネット部会)

日時：平成31年1月19日(土) 午後1時30分から午後3時まで

場所：安城市民会館 3階 大会議室 講師：(株)ニチイ学館 講師

次回 平成31年1月17日(木) 午後1時30分～3時 社会福祉会館 会議室

11月7日 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

演題/多様化する福祉人材について～外国人雇用の現状と課題～
講師/古田 周作 氏 (社会福祉法人福寿会 常務理事)

※研修会の参加者40名 アンケート回収31名 (回収率77.5%)

1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	2
2	歯科医師	0
3	薬剤師	0
4	看護師	1
5	保健師	0
6	理学療法士	0
7	施設長	4
8	施設管理者	3
9	人事担当	5
10	事務職	2
11	生活相談員	4
12	社会福祉士	2
13①	(訪問)介護職	3
13②	(通所)介護職	0
13③	(入所)介護職	1
13	(所属未回答)介護職	1
14	ケアマネジャー	2
15	その他	1
0	未回答	0
合計		31

2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院部会	1
2	医師会部会	1
3	歯科医師会部会	0
4	薬剤師部会	0
5	施設部会	18
6	デイネット部会	2
7	ヘルパーネット部会	3
8	訪問看護ネットワーク部会	0
9	訪問リハネット部会	0
10	ケアマネット部会	0
11	グループホーム部会	2
12	小規模多機能部会	0
13	町内会/民生委員等	0
14	保健福祉部会	1
15	その他(障害者サービス、行政等)	1
0	未回答	2
合計		31

3. 研修の反応

(1)わかりやすさ		人数
1	わかりやすい	23
2	まあまあわかりやすい	7
3	どちらでもない	0
4	あまりよく分からない	0
5	全く分からない	0
0	未回答	1
合計		31

(2)満足度		人数
1	満足	18
2	まあ満足	11
3	どちらでもない	1
4	やや不満	0
5	不満	0
0	未回答	1
合計		31

4. 貴施設(法人)の外国人雇用について

(1)外国人の採用予定について		人数
1	採用している	6
2	採用する予定	13
3	採用を検討している	2
4	予定はない	7
0	未回答	3
合計		31

採用予定の時期	人数
30年11月頃～	2
30年12月頃～	3
31年1月頃～	1
31年2月頃～	2
31年4月頃～	2
31年5月頃～	1
31年春頃～	1
未回答	1
合計	13

(2)外国人の雇用の内容について(予定を含む)

技能実習 ミャンマー
技能実習 インドネシア 2名
不明
派遣→直接雇用 フィリピン人 1名
技能実習
技能実習 フィリピン人 8名、留学生 ベトナム 4名
技能実習、留学生 フィリピン
EPA フィリピン 2名
技能実習 インドネシア 数名
EPA フィリピン 2名
技能実習 ベトナム
直接雇用 6名 フィリピン、中国、マレーシア
技能実習 フィリピン 8名、採用している:日系ブラジル 非常勤
派遣スタッフ
技能実習 2名
直接雇用
直接雇用 フィリピン 11名 今後別形態での採用も検討
技能実習、直接雇用 フィリピン 約20人

5. 今後企画してほしい研修など

- ・ 感染症
- ・ 施設間の交流会、意見交換会(項目・内容毎、施設毎)
- ・ 研修システムについてどの程度構築されているか
- ・ 離職防止の有効な取り組み

6. ご意見・ご感想等

- ・ とても勉強になりました。受け入れに前向きになった。
- ・ ある施設で外国人労働者が約束と違う安い報酬で働かされていると聞きました。誠実な外国人(心ある日本人も)それぞれに見合った対価が与えられますように願います。
- ・ 平日の夜間6時～くらいの研修が参加しやすい。スライドの中の女性の笑顔がステキでした。私も頑張ります。ありがとうございます。
- ・ 成功体験施設の講演はこれから雇用する施設の励みになった。
- ・ とてもわかりやすい研修でした。ありがとうございました。
- ・ 直接雇用のメリット、デメリットも併せて教えていただけると良かった。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 豊富な経験に基づきお話していただいて大変参考になりました。今後人材不足で避けて通れない問題だが、初めて詳しい話を聞いて、企画としても最高でした。

平成30年11月17日 認知症を知る講演会 アンケート集計結果

第1部：劇団サルビー見守り隊 第2部：秋川リサ氏(女優・タレント)

※当日来場者数：500名、アンケート回収数：207枚

1. 年齢		実数	%
1	20歳未満	1	0.5%
2	20代	3	1.4%
3	30代	7	3.4%
4	40代	13	6.3%
5	50代	52	25.1%
6	60代	46	22.2%
7	70代以上	85	41.1%
0	不明	0	0.0%
合計		207	100.0%

2. 性別		実数	%
1	男	52	25.1%
2	女	153	73.9%
0	不明	2	1.0%
合計		207	100.0%

3. 職種		実数	%
1	地域住民等	104	50.2%
2	民生委員・町内会関係者等	18	8.7%
3	医療職	11	5.3%
4	介護・福祉職	26	12.6%
5	その他	47	22.7%
0	不明	1	0.5%
合計		207	100.0%

4. わかりやすい内容か？(寸劇)		実数	%
1	分かりやすかった	91	44.0%
2	まあまあ分かりやすかった	71	34.3%
3	よく分からなかった	10	4.8%
4	まったく分からなかった	4	1.9%
0	不明	31	15.0%
合計		207	100.0%

5. 満足度(寸劇)		実数	%
1	大いに満足	91	44.0%
2	おおむね満足	79	38.2%
3	やや不満	9	4.3%
4	不満	2	1.0%
0	不明	26	12.6%
合計		207	100.0%

6. わかりやすい内容か？(講演)		実数	%
1	分かりやすかった	133	64.3%
2	まあまあ分かりやすかった	42	20.3%
3	よくわからなかった	2	1.0%
4	まったく分からなかった	0	0.0%
0	不明	30	14.5%
合計		207	100.0%

7. 満足度(講演)		実数	%
1	分かりやすかった	132	63.8%
2	まあまあ分かりやすかった	41	19.8%
3	よくわからなかった	3	1.4%
4	全く分からなかった	1	0.5%
0	不明	30	14.5%
合計		207	100.0%

8. 今後、講演会で聞きたい内容		実数	%
1	健康維持・増進	73	24.3%
2	介護予防	41	13.7%
3	認知症	40	13.3%
4	シニアライフ	57	19.0%
5	人生の最期	83	27.7%
6	その他	6	2.0%
合計		300	100.00%

※8複数回答あり

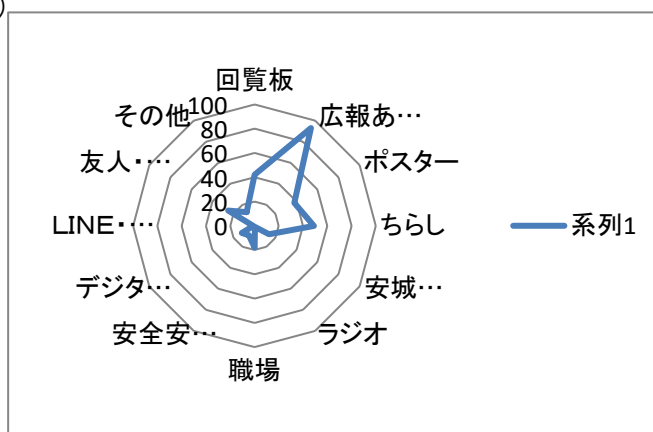
9. ご意見・ご感想

- ・とてもわかり易くすばらしい講演でした。お話のしかたも非常に上手。すてきな人柄がしのばれました。
- ・亡くなった祖母を思い出しました。両親をもっと大切にしようと思います。
- ・大変良かったです。サルビー見守り隊の依頼をしたいと思う。最後の会長あいさつがとても心に残った。秋川さんの思いがよく伝わった。
- ・秋川リサさんととても良いお話が聞く事が出来参考になりました。すばしかったです！
- ・父は認知症で私のことはもう分かりませんが私が介護に満足できるために生きてくれていると思って生きている間は大切にします。今日はありがとうございました。
- ・安城市の介護相談員です。もう5年になります。週に1度市内の介護施設に行き高齢者、認知症の人と会話もしています。認知症サポーター養成講座の講師も4年です。セミナーを23回、900人に話をしました。
- ・ありがとう良かったです。
- ・大変良く分かり勉強にもなりました。
- ・とてもいいお話でためになりました。今後もこう云うお話は聞きたいです。
- ・80代、90代の母が居ます。これからどうなるのか？日々をたいせつに過ごします。
- ・自分自身にとって一番大切な事、又家族の事も考えその相談等も身近に有ると知り安心しました。
- ・勉強になり、ありがとうございました。
- ・介護の本音が聞けて良かったです。

- ・ 寸劇はわかりやすくカフェの紹介がされており身近に感じる事ができた。講演は実体験にもとづいたりアルな話して終活の必要性も感じる事ができた。
- ・ 実母の介護は受ける人も幸せだと思いますが、問題は嫁の介護は本当に苦労が多いです。本当に孤独になります。人生をうばわれた様な気がします。男性の協力がまだまだですね。女はストレスでガンになります。
- ・ 今後も期待しています。
- ・ とっても参考になりました。
- ・ リサさんがとてもかわいらしく魅力的でした。私も当事者なので、悔いのない関わりをしたいと思います。
- ・ 認知症介護の実体験を聞き、自分の両親のこれからについて考えました。まだまだ知識は足りない部分もありますが、自分の両親なので、どう生きていきたいかを話す機会を持ちたいと思いました。
- ・ 寸劇がおもしろかった。ネタをたくさん入れてくれたから聞きやすかった。
- ・ 寸げき、今の流りを取り入れて楽しかった。
- ・ 実態を話していただけたのでわかりやすかった。
- ・ 今後もこの様な講演会に参加し研修をできたらいいと感じました。
- ・ つらい話なのにユーモアがあり楽しかった。
- ・ 実際に介護をされた体験談をうかがえてとても良かったです。私は母の介護が始まったばかりで、本は沢山読みましたが、どことなく虚構の様に思っていました。心構えや向き合い方を示されると感じました。サルビー劇団もたのしかったです。こういった方がスタッフとしているカフェなら母も楽しめると思います。
- ・ 秋川リサさんのお話はとても良かったです。
- ・ とってもおもしろいお話で良かったです。
- ・ とっても楽しく講演が聞いていいお話でよかったです。ありがとうございました。
- ・ 秋川リサさんの実体験の話と考え方とても参考になった。自分も認知症の母がいるので考え方、やり方も確認できた。若い人との交流も必要であることもわかった。ケアマネさんが相談できるのでいいが安城はとて認知カフェなどががんばっていると思う。
- ・ 秋川リサさんのお話とてもよかったです。介護していました。
- ・ 大変良かったです。
- ・ 寸劇はおもしろかったのですが、マイクを持っていたのが少し残念。持たずにできるような小さなマイクがあればさらに良いものができるのでは。ありがとうございました。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 良いお話でした。今後の生き方に参考にしたいと思います。
- ・ 認知症の介護は本当に大変だったと思います。秋川リサ氏の講演会はとて貴重なお話が聴けて良かったです。
- ・ 参考になりました。秋川さんのように明るく楽しく前向きに生きていきたいと思いました。
- ・ 今後も、この様な講演会を期待します。(タレントの講演会)有難うございました。
- ・ いいお話聞かせていただきました。参考にしたいです。
- ・ 死にざまを見せるのも教育ということを考えさせられた。
- ・ 夫がデイサービスから4時に帰ります。時間の設定にもう少しご配慮をいただけたらと残念です。
- ・ 寸劇の主旨が今ひとつわからない。しげさんは、認知症の人？認知症カフェは何のためにいくところなのか解説者の説明をきいて理解したが劇の内容からは伝わらない。でも楽しかったし体操も良かった。清水会長のしめのあいさつはみなさんにきいてもらうべき。講演の内容がより生きる内容だった。

(複数回答あり)

講演会を何で知ったか	実数
1 回覧板	42
2 広報あじょう	93
3 ポスター	38
4 ちらし	49
5 安城ホームニュース	14
6 ラジオ	1
7 職場	18
8 安全安心メール	9
9 デジタル掲示板	12
10 LINE・Facebook	1
11 友人・知人	25
12 その他	13

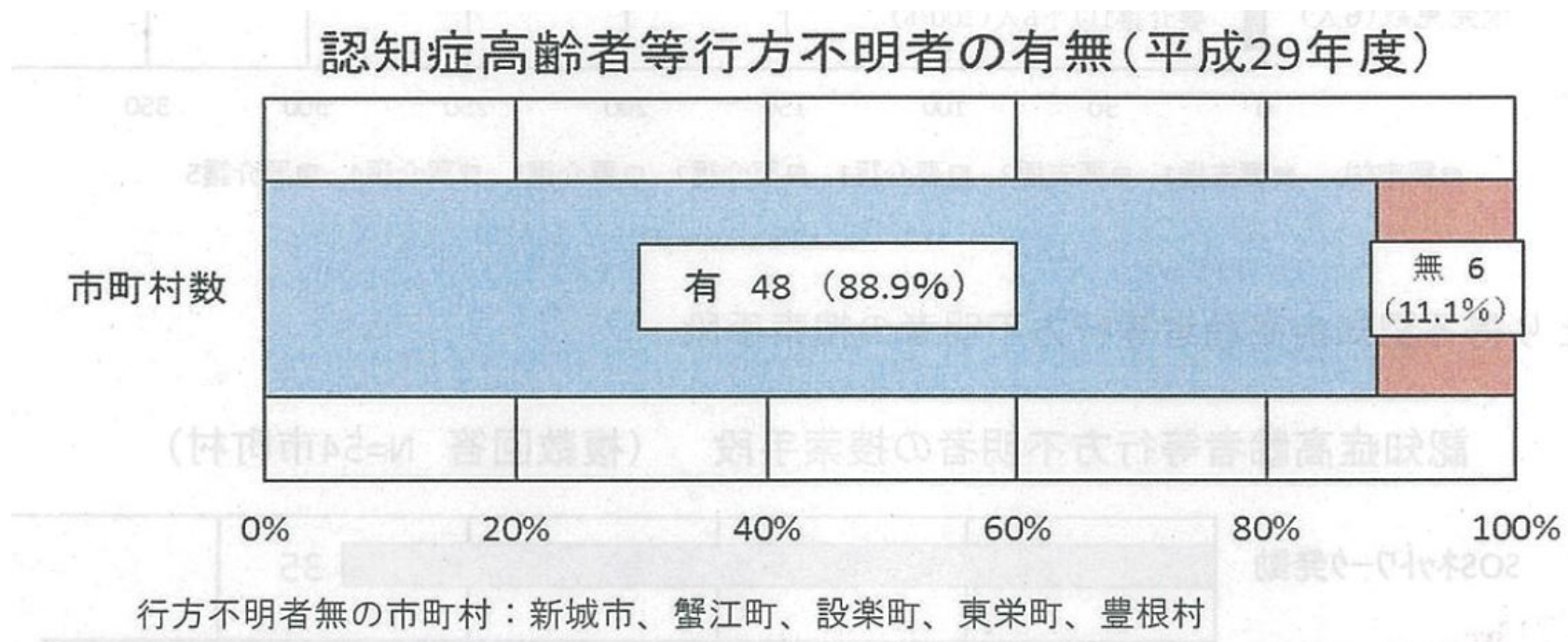


認知症高齢者の行方不明 に関することについて

平成29年度認知症高齢者の徘徊などによる行方不明者等の状況

(愛知県地域包括ケア・認知症対策室 平成30年10月調査 対象：県内54市町村より抜粋)

- 市町村における認知症高齢者等行方不明者の有無



●平成29年度認知症高齢者等行方不明者の発見場所・要介護認定状況

(回答：行方不明者有の48市)

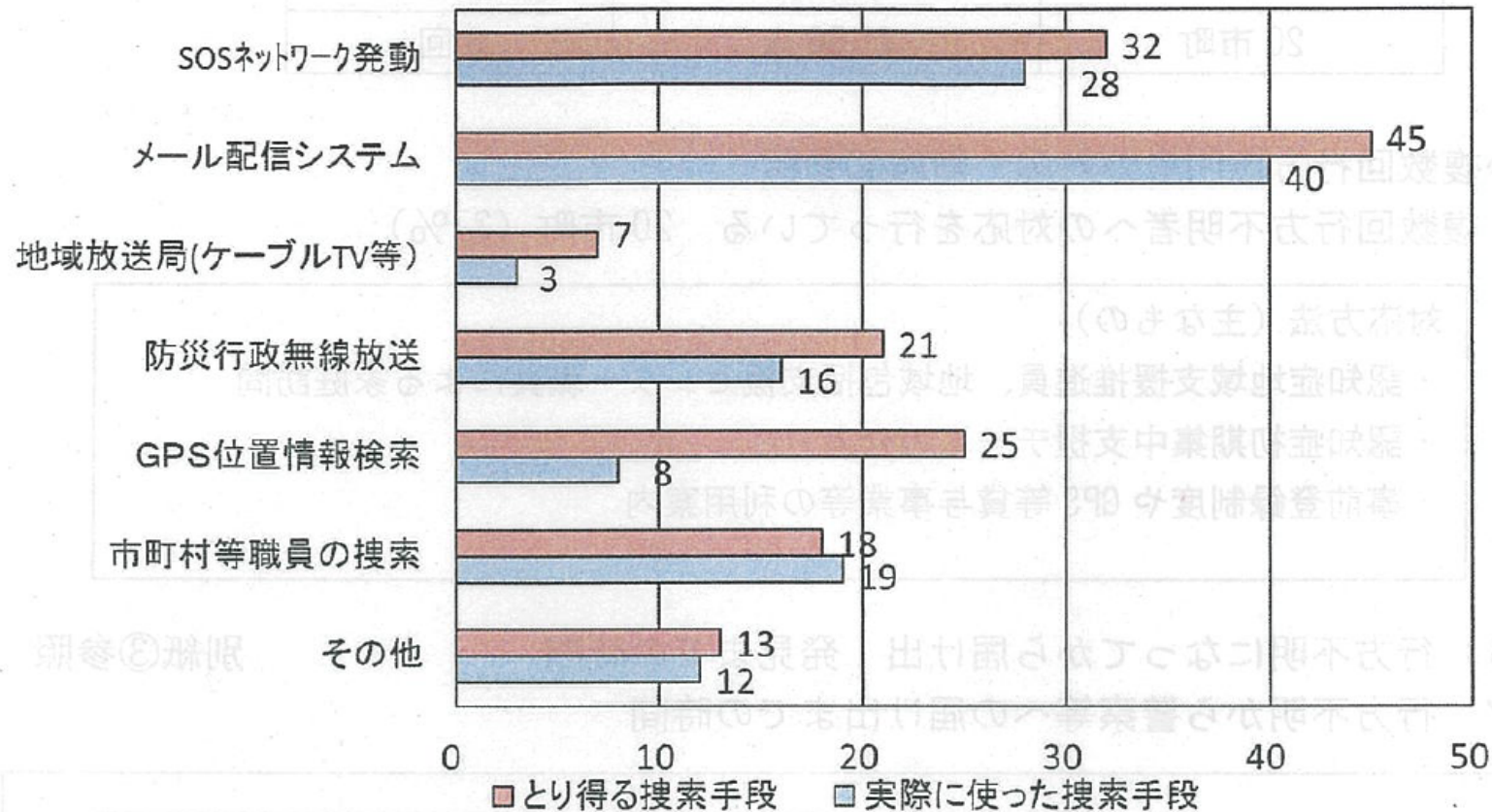
平成29年度認知症高齢者等行方不明者の発見場所・要介護認定状況(48市町村)

	発見場所	要介護認定									平成29年度 実人員 (人)	平成29年度 延人員 (人)
		認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明		
計	行方不明高齢者数	86	26	9	109	61	45	14	2	374	726	770
		11.8%	3.6%	1.2%	15.0%	8.4%	6.2%	1.9%	0.3%	51.5%	100%	100%
内 訳	市町村区域内発見	51	19	6	74	43	30	10	2	297	532	579
		9.6%	3.6%	1.1%	13.9%	8.1%	5.6%	1.9%	0.4%	55.8%	73.3%	75.2%
	(うち死亡者)	2	0	0	2	1	0	0	0	6	11	
	市町村区域外発見	27	6	2	27	13	11	3	0	67	156	162
		17.3%	3.8%	1.3%	17.3%	8.3%	7.1%	1.9%	0.0%	42.9%	21.5%	21.0%
	(うち死亡者)	2	1	0	1	0	1	0	0	2	7	
発見区域不明	4	0	1	7	5	4	1	0	7	29	29	
	13.8%	0.0%	3.4%	24.1%	17.2%	13.8%	3.4%	0.0%	24.1%	4.0%	3.8%	
未発見数	4	1	0	1	0	0	0	0	3	9		
	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	1.2%		

(参考)平成28年度	686
(参考)平成27年度	681
(参考)平成26年度	414
(参考)平成25年度	307
(参考)平成24年度	211

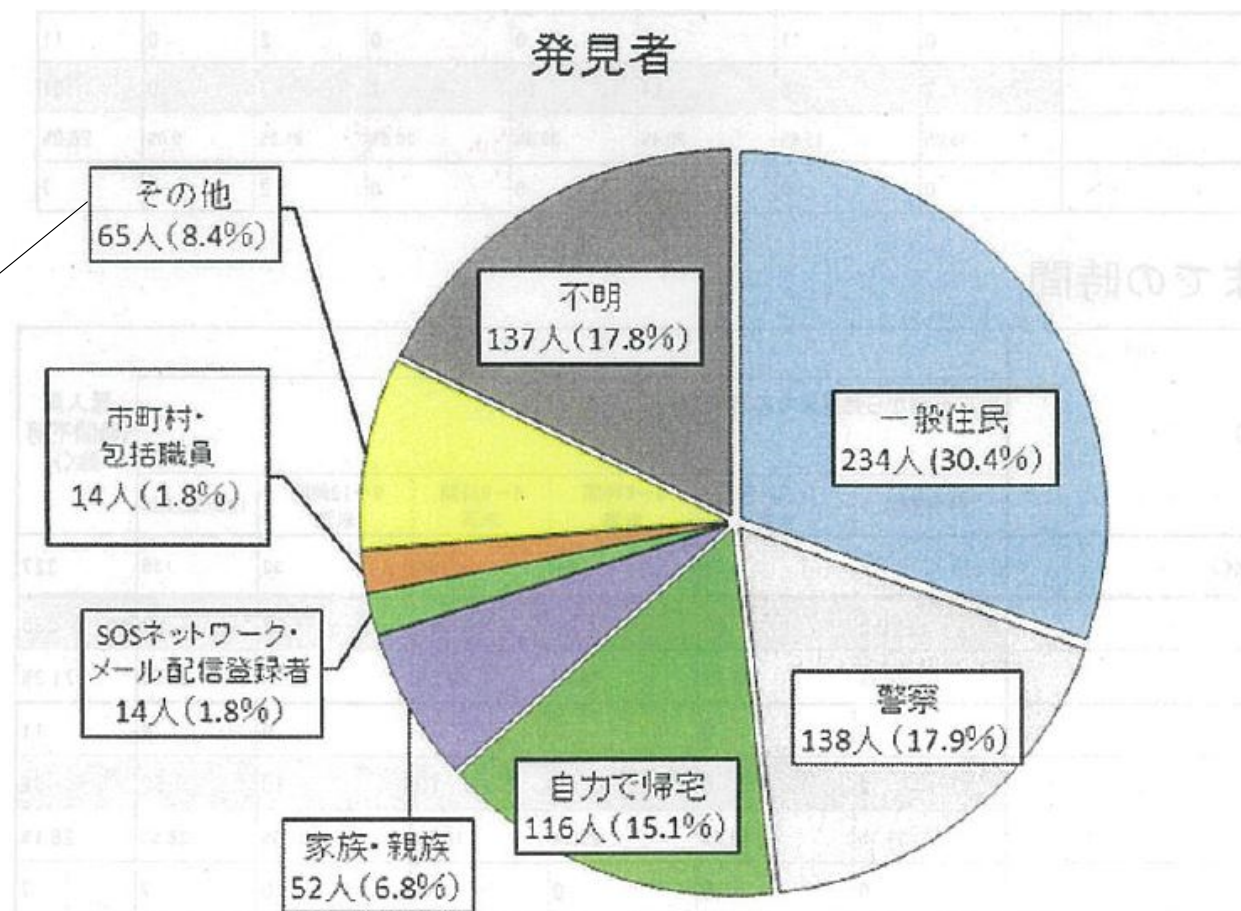
- 実際に使った認知症高齢者等行方不明者の搜索手段

認知症高齢者等行方不明者の搜索手段（複数回答 N=48市町）



• 行方不明高齢者を発見した者の種別について

(発見された延べ770人)



その他 65人

交通機関関係者、介護関係者、警備会社、店舗店員、医療関係者、消防署員・救急隊員、倉庫管理人、ビル管理人、マンション管理人、ゴルフクラブハウス管理人、新聞配達員、動物園係員、金融機関員、JA職員等

- 複数行方不明者の有無

(平成29年度)

複数回行方不明者 有り	複数回行方不明者数 (実人数)	最大回数
20市町	計56人	8回

- 平成28年度末で未発見者の状況について

行方不明者のうち未発見者(平成28年度末)		22人
平成29年度追跡状 況	市町村区域内での 発見者数	13人
	うち死亡発見	4人
	市町村区域外での 発見者数	5人
	うち死亡発見	1人
	区域不明の発見者数	3人
未発見者数		1人

愛知県認知症高齢者徘徊SOS広域ネットワーク稼働状況

- 他都道府県への行方不明者搜索依頼

平成28年度市町村	他都道府県搜索依頼件数
計(5市町)	12件

- 他都道府県から愛知県への行方不明者搜索依頼

平成29年度愛知県 受理	他都道府県からの搜 索依頼受理件数	解除通知 (平成30年10月末 現在)
計(15都道府県)	31件	9件

安城市の認知症高齢者等行方不明者について

	安城市 (ネットワーク配信者数) ※延べ	隣接市 (ネットワーク配信者数) ※延べ	複数回行方不明者数 (安城市：実人数)	最大回数 (安城市)
平成29年度	27名(17名)	7名(6名)	5名	5回
平成30年度	17名(6名)	4名(4名)	5名	3回

市外での発見場所

豊明市、碧南市、知立市、豊田市、みよし市、東浦町

発見率は100%

⇒みつかるつながるネットワークへの登録により、捜索届が出される以前に一般人からの通報により発見されるケースも多い。



安城市の認知症高齢者等行方不明者について

発見者	人数
家族・知人	2
警察(市内)	4
警察(市外)	2
介護関係者	2
企業関係者	1
一般住民	1
本人が帰宅	1

その他

行方不明届より先に住民が発見し連絡	4
-------------------	---

認知症高齢者の行方不明対策の課題

警察への早期届出	家族の早期届出、繰り返しかえし届けることへの遠慮
独居高齢者対策	行方不明発生時の気づきの遅れ
捜索協力者対策	メール配信システムの登録者の確保 協力機関の確保・拡大
市民啓発	住民の認知症・徘徊に関する理解
連絡体制	時間外、休日の捜索連絡対策
発生前対策	行方不明になる恐れのある高齢者の把握 事前登録制度の活用
再発防止策	徘徊を繰り返す事例への対策
連携体制	近隣市町村との連携（各市町村のネットワークの共通認識）

課題に対する本市の施策

- 1 認知症高齢者捜索声掛け模擬訓練
- 2 みつかるつながるネットワークでの連携
- 3 みつかるつながるネットワーク登録者への「行方不明への備え」をチラシで啓発
- 4 GPS貸出サービスの実施
- 5 広報あんじょうでの連続コラム（認知症サポーター、みつかるつながる、認知症カフェなど）
（6 見守り協定＆見守り協力店）

• 行方不明捜索模擬訓練の実施状況

年度	実施市町村数	市町村名 ※（）内は実施回数
30年度	28 (予定含む)	名古屋市（18）、豊橋市（2）、岡崎市、半田市、春日井市、豊川市、津島市（2）、碧南市、刈谷市、豊田市（3）、安城市（12）、蒲郡市、犬山市、常滑市（2）、江南市、小牧市（2）、東海市、大府市（3）、知立市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、大口町、扶桑町、東浦町（3）
29年度	29	名古屋市（20）、豊橋市、岡崎市（3）、半田市（2）、春日井市（5）、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市（7）、安城市（10）、蒲郡市、犬山市、常滑市（2）、江南市、小牧市（7）、東海市、大府市（4）、知立市（2）、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、みよし市、東郷町、大口町、扶桑町、東浦町、幸田町 ※他市町村との広域訓練 1市 春日井市

安城市高齢者搜索声掛け模擬訓練の様子（別紙資料2-2参照）



模擬高齢者のチラシを見ながら見つかるつながるネットワークのシールも確認します。



家に帰れなくて困っている高齢者に出会ったら、どう声掛けしたらいいか家族で考えながら体験しました。

安城市徘徊高齢者家族支援事業

平成30年現在では24人が利用

ココセコム ご高齢者の見守り

後で見る 共有

SECOM

携帯電話から

お問い合わせも

その他の動画 携帯電話やパソコンで位置を検索



見守り協定

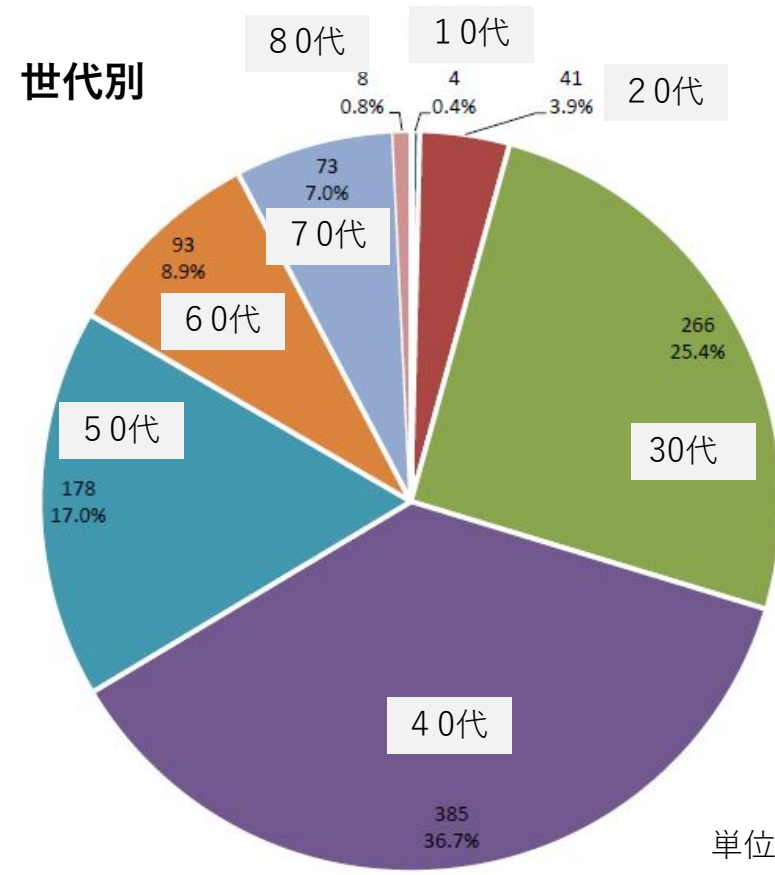
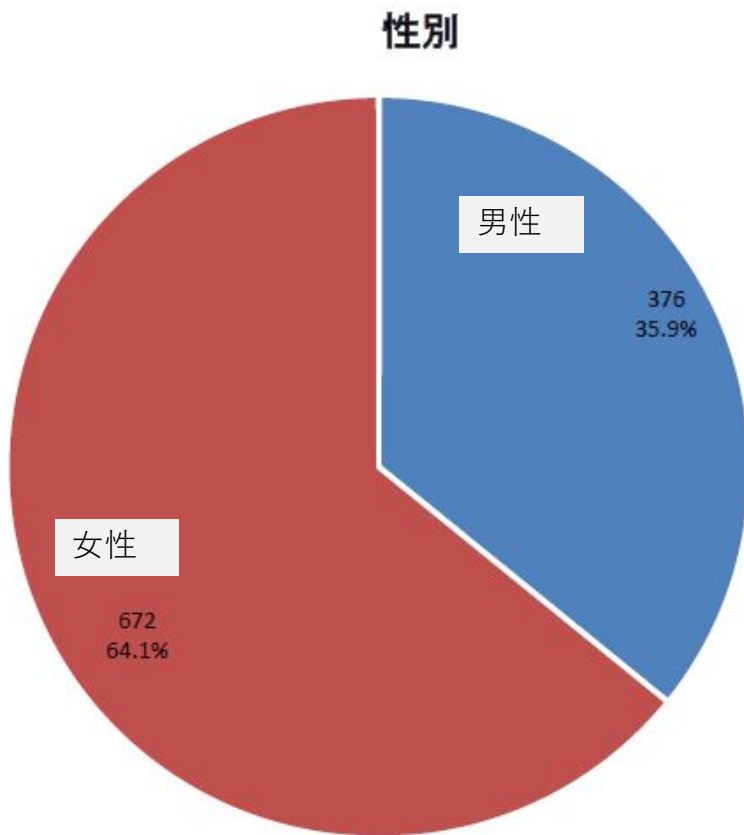


- ・ 38事業者と協定を締結
- ・ 安否不明や徘徊など、異変が疑われる場合市に通報
⇒ 多くの目で早期の異変の発見



eモニターアンケート結果 (認知症施策等についての抜粋)

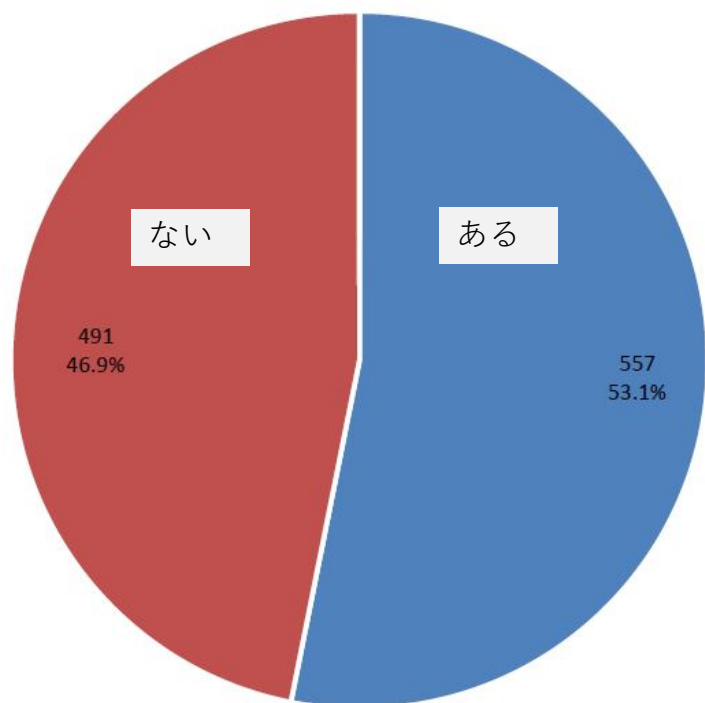
- 実施期間 平成30年10月26日～平成30年11月2日
- 回答数 1048人



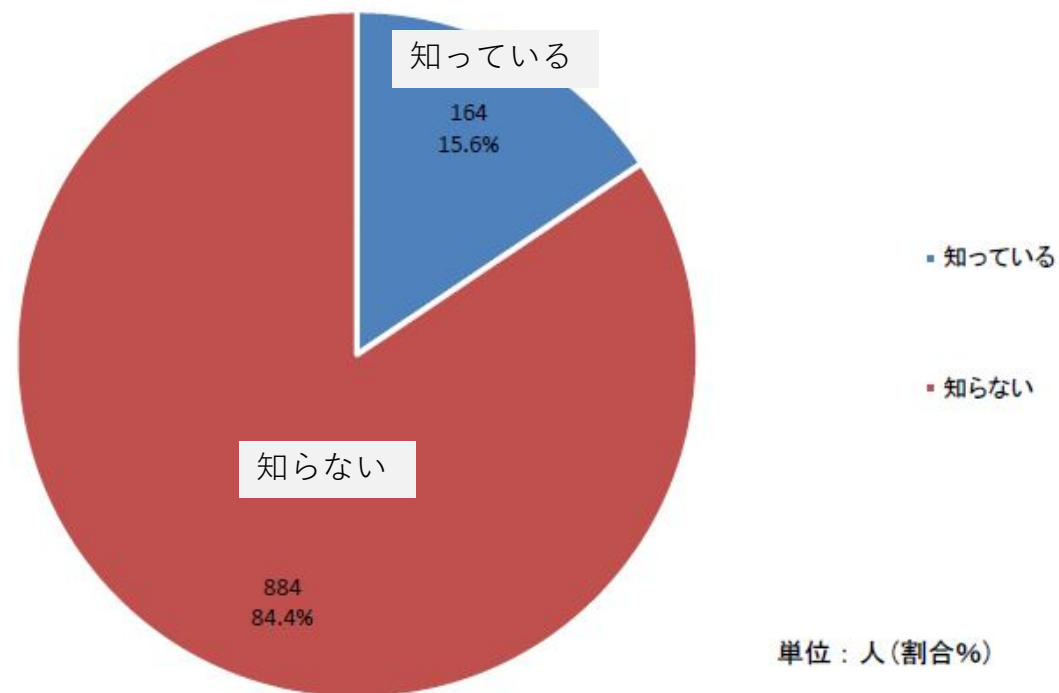
単位：人(割合%)

eモニターアンケート結果 (認知症施策等についての抜粋)

問1: 認知症の人と接したことがありますか。



問7: 安城市で実施している「見つかるつながるネットワーク」をご存知ですか。



なお残る課題は？

警察への早期届出	家族の早期届出、繰り返しかえし届けることへの遠慮
独居高齢者対策	行方不明発生時の気づきの遅れ
捜索協力者対策	メール配信システムの登録者の確保 協力機関の確保・拡大
市民啓発	住民の認知症・徘徊に関する理解
連絡体制	時間外、休日の捜索連絡対策
発生前対策	行方不明になる恐れのある高齢者の把握 事前登録制度の活用
再発防止策	徘徊を繰り返す事例への対策
連携体制	近隣市町村との連携（各市町村のネットワークの共通認識）

なお残る課題は？

みなさんにできることは？

- 多職種で、専門職、市民としてできることを考えてみましょう



安城市マスコットキャラクター
「サルビー」

平30年度各地区認知症高齢者捜索・声掛け模擬訓練実施状況

資料2-2

地区	日時	開催場所	参加者・団体	参加者人数	内容	アンケートの声(抜粋)
東山	9月2日(日) 午前10時～午後3時	北部福祉センター (北部福祉センターまつり)	まつり参加者	100人	1 訓練の説明とくじ引きでそれぞれのミッションを決める。 2 高齢者を探し、それぞれのミッションに沿って声かける。 3 受付に戻り、見つかるつながるネットワーク等の説明	・市町村によって、介護サービスの提供方法が違うので、よく知れてよかったと思います。 ・シールがあるのを知らなかったの、知ることができてよかった。見つけたら声を掛ける勇気ができました。 ・聞きやすく大きな声で掛けることが大切だと思いました。
安城北①	11月6日(火) 午前10時～午前11時	中部福祉センター 集会室	サロン参加者	18人	1 認知症の人への接し方の説明 2 3グループに分かれて声かけ訓練(ロールプレイ) 3 見つかるつながるの説明	・楽しかったし勉強になりました。 ・相手の立場、目線で学ぶことができた。 ・見つかるつながるネットワークのシールがあると知った。
安城北②	11月27日(火) 午前9時30分～10時25分	中部福祉センター 集会室	サロン参加者	47人	1 認知症の人への接し方の説明 2 3列に分かれて声かけ訓練(ロールプレイ) 3 見つかるつながるの説明	・イベント毎に実施して子供に関心を与えてください。 ・笑顔だと声を掛けやすいけど、真顔でボーっとしていると子供だけでは声を掛けづらい。親に知らせるように日頃から子供に伝えておきたい。 ・状況に応じて声掛けも違うので、学ぶことができた。実際に会った時には声を掛けやすいと思った。
篠目	8月26日(日) 午後1時～午後3時	作野公民館 (作野公民館まつり)	まつり参加者	122人	1 会場内で祭の来場者に訓練参加を呼びかけ、スタンプカードを配布。 2 参加者は場内にいる3名の模擬高齢者を探し声をかけ、スタンプカードにスタンプを押してもらう。 3 スタンプカードに3つスタンプを押してもらった参加者は受付で	・実際に出会ったことはまだないので、練習ができてよかった。 ・市民全員が認知症について意識と知識をつけることが大事。 ・体調、名前、住所が考えていたより尋ねられなかった。経験してよかった。 ・役者さんと分かっているても声を掛けにくい。第1声が難しい。 ・日頃から認知症になっていることを知っていると、その人に会った時に声を掛けやすいので、言える人は話してほしいと思っています。
安城南	11月11日(日) 午前10時～午前11時30分	城南町公民館周辺	城南町住民 (10/27に認知症サポーター養成講座を開催し受講された人)	16人	10/27(土)認知症サポーター養成講座 講座終了者に参加してもらい模擬訓練実施 1 声掛けのポイント説明 2 グループに分かれ、声掛け訓練(3パターンの高齢者役配置) 3 見つかるつながるシールQRコードを読み取り、市へ通報訓練	
安祥	12月1日(土) 午前10時～午後11時30分	古井住宅防災訓練のブース	防災訓練参加者	61人	1 受付で訓練参加を呼びかける。 2 参加者は場内にいる2名の模擬高齢者を探し、声をかけ、カードを受け取る。 3 カード2枚を集めた参加者は受付でアンケートに回答し、参加賞をうけとる。	
安城西①	11月25日(日) 午前10時～午前11時30分	西部福祉センター (西部地域まつり)	まつり参加者	80人 (アンケート回収数 63人分)	1 受付で参加を呼び掛ける。 2 受付で、捜索する模擬高齢者を指定し、高齢者の特徴や声かけのポイントを書いた資料を渡す。参加者は、指定された模擬高齢者を探し、声をかける。模擬高齢者が資料にスタンプを押す。 3 参加者は受付に戻り、スタンプをスタッフに見せる。	
安城西②	11月29日(木) 午前9時30分～11時	ピアゴ福釜店	来店客	47人 (アンケート回収数 24人分)	1 受付で参加を呼び掛ける。 2 受付で、捜索する模擬高齢者を指定し、高齢者の特徴や声かけのポイントを書いた資料を渡す。参加者は、指定された模擬高齢者を探し、声をかける。(おばあさん役は1階フードコート内、おじいさん役は、店舗入り口付近に配置) 3 参加者は、受付に戻りどこで発見したか等を店員役に報告。店員役にスタンプを押してもらう。	
明祥	10/10(水) 午後1時30分～午後3時	石井町公民館 グラウンド	石井桜会役員 会員	30人	1 認知症の説明、声かけの仕方の説明 2 高齢者役(職員)に参加者が声をかける 3 見つかるつながるネットワーク、ガイドブックの説明	
全体	9/15(土) 午前10時～午後3時	デンパーク	デンパーク来園者	159名	1 敬老スタンプラリーのポイント(3カ所)のうちの一つ ※他2カ所は敬老のカード作り、敬老クイズコーナー 2 高齢者役(劇団サルビー見守り隊など)に参加者が声を掛ける 3 見つかるつながるネットワーク、ガイドブックの説明	



今後の予定: 桜井地区 平成31年2月9日10:00～ アピタ安城南店 東山地区 平成31年2月18日(日)10:30～ 老人保健施設さとまち